

Q まちづくり推進事業の「ファシリテーター養成講座」とは。

A ファシリテーターとは、話し合いの場を活性化させながら進行する人のことです。この養成講座では、ファシリテーターの技術を身につけてもらうのに加え、協働のまちづくりや住民活動についても学び、理解してもらうことで、地域の自立に繋がる人材の育成を目指すものです。町民と現場職員を対象に実施します。

Q 医療福祉制度（マル福）を中学生まで拡充すべきではないか。

A 対象年齢の拡充を検討する中で、自己負担分をどうするかなど、県の動向も踏まえながら十分に検討をしていきたい。

Q 大人になってかかると重症化しやすい水ぼうそうやおたふく風邪は、予防接種を予算化してもよいのでは。

A 水ぼうそうは本年10月から定期予防接種になる予定です。また、おた

ふく風邪についても、国の予防接種委員会で定期化への話し合いが持たれており、経過を見守りたい。

Q 在宅福祉サービスの利用状況は。

A 平成24年度の実績で、通院介助が1,706件、外出・買い物627件、身辺の世話が285件です。利用者は202名でした。

Q 在宅福祉サービスと公共交通事業との今後の兼ね合いはどうか。

A 在宅福祉サービス利用者の多くは通院で利用されており、公共交通でカバーできない面があります。公共交通とは全く違った役割を持っており、今後も福祉事業として残すよう進めていきたい。

Q ミニ・シルバー人材センターの法人化に向けて、もっと幅広い仕事のニーズに応えられる体制が求められるのではないかと。会員の人材確保についての考えは。

A パソコン操作や一般

事務、施設の管理といった技術的なものに対応していくことも重要だと捉えています。今後、幅広い活動が行えるよう技能講習会等を実施することも考えていきたい。

Q 「人・農地プラン」により農地の利用集積が図られているところであるが、国が掲げる目標と農業者がやりたい意思とが若干食い違っているところがあるように感じている。

A 五霞町は道の駅を中心として少量多品目の栽培を進めているが、国が目指している大型化は必ずしもあてはまらない面もあり、この地域に合った土地の利用計画を作成し、整合性を図りながら進めていきたい。

Q 今年に入り2回ほどの大雪があり、その際は、建設業協会の除雪作業のご尽力により大変助かった。町との連携はどのようになっているのか。

A 大雪が予想される場合は、事前に町から建設業協会へ対応をお願いし

ており、自主的に除雪作業を行っていただいている状況です。町も町内パトロールを行いながら連携を図っています。

Q 今年度から太陽光発電システム設置補助金の事業費が国の補助対象になるとのことですが、事業費を拡大する考えは。

A 今までの経過を勘案し、前年度同様に20件で計画しました。また、1件あたりの補助額を増やすことについては、対象者が限られており、特定の個人への支出となるため従来どおりとしました。

Q 高齢者が増えてきて、中央公民館の3階部分は使いつらいと思うが、耐震も重要だが、同時に利便性の向上についても考慮した方がよいのではないかと。

A 南海トラフの地震の報道等もあることから、現実にも使用しており、避難所にも指定されている施設なので、まずは早急に補強を実施したい。それからバリアフリー化等の利便性について検討し

たい。

Q 東・西小学校のパソコンについて、120台更新をしたいということ、いつごろ、どういう形で実施するのか。

A 夏の長期休業中に改修工事を行い、秋から稼働させたい。4月以降、学校と教育委員会、町の情報担当がチームを作りまして、入札にするのか、プロポーザル方式にするのか検討したい。

Q メンタルフレンドを導入したが、何人で実施しているのか。

A 25年度、26年度ともに男女各1人ずつ計2人で実施しています。主に不登校の児童生徒への支援を行っており、25年度にはかなり良い成果が出て、不登校が解消した生徒もいます。

Q 新年度から国民健康保険の新しく制度として変わる部分は。

A 新たに70歳に達した方から暫定的に1割に据え置かれていた医療費の自己負担が、法律のお

り2割になります。なお、現役並み所得の方は、今までと同様に3割負担となります。また、高額療養費自己負担限度額の3段階の区分が、平成27年1月から、より細かく、所得に見合った負担をしていただくために5段階の区分に変更となる予定です。

Q 農業集落排水事業の管路内カメラ調査とは、どういったものか。

A 川妻地内1,200メートルについて、マンホールを開け、入る前に硫化水素については計測しますが、ガスがたまる原因として、管路のたるみ等があるか、カメラを入れて調査します。

※プロポーザル方式  
予算額等を示した上で、いくつかの業者から提案を受けて良いものを採用する方法

